

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第82回研究会開催案内

日時： 平成25年11月26日(火) 18:30 - 20:30

場所： エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師： (株)ミナトマネジメント代表取締役 / (株)リライズ・インベストメント代表取締役

倉本達人 (くらもとたつと) 氏

略歴： 1970年福岡県生まれ。新日本監査法人(福岡事務所)において銀行・信用金庫等金融機関を中心に監査業務に従事後、同監査法人のグループ会社であるアーンスト&ヤング M&A コンサルティング部門に転籍。金融機関・メディア系の事業再編・M&A のアドバイザーを務める。その後不動産投資信託(REIT)運用会社において不動産投資・証券化案件の企画・管理者、知的財産権投資会社役員を経て、2009年に投資助言・代理業を営む株式会社リライズ・インベストメント設立、代表取締役就任。2013年にファンド組成及び不動産仲介業を営む株式会社ミナトマネジメント代表取締役就任。公認会計士、税理士。

テーマ： シンガポールによる対日投資の現状

～再生可能エネルギー投資を中心に～

概要： 古来より、「アジアの玄関口」として海外との交流が行われてきた九州だが、現在でも福岡 ABC や九経連 IBC に見られるような、アウトバウンド・インバウンドの国際取引インフラ構築が積極的に取り組まれている。こうした環境下、昨年度より本格的に始まった再生可能エネルギーの固定買取制度は、日本国内事業者だけではなく海外の投資家・メーカー等も注目を向けており、特に地理的優位性と経済力を持つ九州は非常に興味を持たれている。講師が代表を務める(株)ミナトマネジメントは、シンガポールの上場企業である Boustead Singapore Limited が日本で行う太陽光発電事業投資に関するアセットマネージャーとして九州エリアで積極的に事業展開を図っている。今回の研究会では、講師が携わっているシンガポール企業による事業投資の投資スタンス・事業スキームを紹介頂き、併せてシンガポールという国とその企業がどのような考えで海外展開を図り、どのような目で日本ひいては九州を見ているのかを紹介頂く。承知の通り、シンガポールは「建国の父」と言われるリー・クワンユー氏の強力なリーダーシップにより驚異的な経済発展を遂げ、同氏が退任した今もその成長力が衰えていない。日本と同じ小国であり人口も天然資源も少ないシンガポールがなぜこれだけの経済力を身につけられたのか、またそのような国・企業と伍するにはどのように対峙すればよいのか、等、お話頂く。

会費： 参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費 1000 円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会